

仁高でつながる 地域と未来

続

にかほ市に根付く高校

平成31年1月、にかほ市と仁賀保高校は連携協定を締結しました。
この協定により、地域と高校の関わりがますます加速。
地域住民が講師として高校で授業を行う「総合的な探究の時間」や
生徒による地域行事のポスター作成、小学生のプログラミング教室など
地域に密着した取り組みを行っています。
また、生徒が地域の課題解決や新たな価値を生み出す
創造力の育成に取り組んでいて、
今日では本市にとって無くてはならない存在となっています。

ものづくりのまちに 必要不可欠な高校

デジタル化が加速している現代。
社会全体がデジタルに対応できる人材を求めています。
高校においても新しい学習指導要領がスタートし、
「情報」が共通必修科目となりました。
仁賀保高校は、県内唯一の「情報メディア科」があり、
情報分野では他校に大きなアドバンテージを持っています。
ものづくりのまちとして成長してきたにかほ市。
これまで培ってきた確固たる技術が仁賀保高校にはあり、
このまちを支える貴重な人材を育成しています。

今号では昨年12月の特集に引き続き、
仁賀保高校の魅力に加え、
デジタル教育が充実している教育の現場をたっぷり紹介します。
さあ、仁高へ。
新しい仁高の魅力を探しに出かけよう。

可能性への挑戦

スペシャリストを目指す

成長を実感できる